

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.23

令和元年7月1日



中央放射線部

目次

2・3

中央放射線部のご紹介

放射線診断科部長 池平 博夫
中央放射線部長 安藤 嘉宏
主任放射線技師 多田 浩章
診療放射線技師 黒川 貴光
診療放射線技師 伊藤 舞
診療放射線技師 日比野真弓

4・5

看護週間イベント

6

市民公開講座について

7

連携登録医のご紹介

いまい内科・循環器クリニック

8

当院の理念

発行責任者／岡本美孝

発行／千葉労災病院 <http://www.chibah.johas.go.jp>

〒290-0003 千葉県市原市辰巳台東2丁目16番地

TEL.0436-74-1111 FAX.0436-74-1151

中央放射線部

放射線診断科

私は千葉ろうさい病院の放射線診断科を担う医師として今年度赴任してきました。

放射線の臨床診断への利用は、昭和期まではいわゆるX線写真を利用した画像診断と放射線同位元素を用いて行う核医学部門、そして電波と磁場を利用したMRIが行われてきました。平成の時代になりCT、MRIの装置技術が目を見張る展開を見せ、X線撮影の高速化、また血管内カテーテルを使い選択的な血管撮影からの治療的応用への発展、核医学では断層画像やポジトロン核種が利用できる時代となり放射線同位元素を使った治療への応用にも発展しています。このように急速な変化を遂げる過程で、核医学科は代謝診断と治療に別れ、画像診断科も画像の読影を行う画像診断と、IVRを中心とする血管内治療科に別れてきています。

千葉ろうさい病院の放射線診断科では、院内外の各診療科からの要望や考えを元に、病院の1階奥にある中央放射線部を活動の場として、装置や画像の特性に精通した診療放射線技師と、放射線診断及び核医学専門医が一致協力して、CTやMRI、核医学などの装置や薬剤を最適かつ安心安全に操作し、得られた画像から病気の診断や治療に必要な医療情報を提供することを仕事としています。患者さんには緊張することなく検査を受けていただき、何か困ったことがありましたら気軽に声をかけていただければありがたいと思います。

中央放射線部の紹介

中央放射線部は放射線治療部門と画像診断部門で構成され、男性17名・女性5名の診療放射線技師がいます。

放射線治療部門では、リニアック装置を用いて高エネルギー放射線を駆使し、目的部位（腫瘍等）に照射して治療を行います。放射線治療の認定資格をもった診療放射線技師と、放射線治療医や看護師で協力し合い毎日精度の高い治療を行っています。

もう1つの画像診断部門は一般撮影装置をはじめ、3TのMRI装置を2台、64列CTを2台、そして核医学検査装置や血管撮影装置など高度医療機器を数々揃えております。これらの装置を用いて画像診断に必要な検査や撮影を行い、各科に画像や診断レポートを配信しています。また、当院では高度画像診断検査を多くの方に利用していただけるよう、地域医療連携部を通じて院外の医療機関から受けたCT・MRI・RIの依頼検査も実施しています。

画像診断検査は、通常勤務時間帯以外も365日24時間、診療放射線技師が常時1名以上で救急医療に対応しており、X線撮影、CT撮影、MRI撮影、透視撮影等が行える体制になっています。

この度、放射線診断専門医を迎え、益々高度になる医療に向けさらにスタッフ一同技術の向上や装置の精度管理、そして何よりも患者さんのための中央放射線部を目指しています。

医療被ばくの最適化に向けて

我が国では、他の国に比べ医療設備が整っており、放射線検査も簡単に受けられる環境にあります。放射線を利用する検査を受けることで有益な情報が得られる一方、少なからず被ばくをしてしまうため医療被ばくが年々増加していると言われていています。放射線検査を受ける患者さんも気にしているところではないでしょうか。

しかし、被ばくを低減しようと安易にX線の量を下げすぎると、画像が不鮮明になり診断に必要な情報を得ることができません。そのためX線の量の最適化が大切になります。

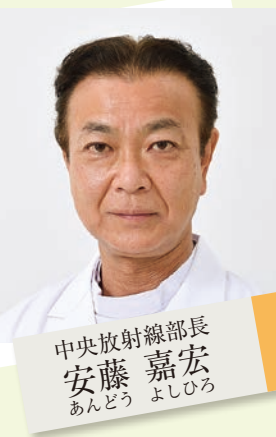
私たち中央放射線部は、放射線を使用したすべての検査で診断に最適な画像を提供できるように、また患者さんへの被ばくを最小限に抑えるよう努力しています。

X線撮影検査ではフィルムからFPD（フラットパネルディテクタ）へと装置が進歩することで感度が向上し、画質はそのままX線の量を少なくできるようになりました。他の検査装置も同様に最新装置を導入することで、被ばくの低減を図っています。

必要最低限なX線量で最大限の検査を行うことで、早期発見・治療につながるような検査を安心して受けていただきたいと私たちは考えております。



放射線診断専門医
放射線診断科部長
池平 博夫
いけひら ひろお



中央放射線部長
安藤 嘉宏
あんどう よしひろ



診療放射線技師
日比野 真弓
ひびの まゆみ

のご紹介

多くの専門技術者認定を取得し、高い専門性が評価されています

我々診療放射線技師が担当する画像検査は多種多様であり、診断の役に立つ検査を安全に行うためには、

1. 装置の仕組みや、どのように体の中の情報を画像として映し出すかといった撮像原理の理解
 2. 画像上に病気による変化がどこにどのように写っているのかを理解する画像を読み解く知識
 3. 検査目的に応じて最適な撮影法・検査法を選択し実践する撮影技術
 4. 装置の状態を高い水準で維持し、安全に検査を実施する運用管理
- などが必要で、検査の種類ごとに高い専門性が求められています。

そして、これら検査の専門性を審査し評価する目的で、関連学会が中心となり専門技術者の認定を行っています。認定資格を得るには、講習会の受講や研究業績などの研修実績の審査と認定試験の合格が必要で、認定を取得した後も一定期間ごとに更新のための再審査を受けなければなりません。更新にあたっては、学会参加や学術研究発表ならびに講習会の受講などが課せられており、一定レベルの知識・技術の維持と、最新の関連情報を継続して収集することが求められています。

当院中央放射線部では、以下の専門技術者認定を保有する診療放射線技師を中心に、全スタッフが協力して専門性の高い画像検査・放射線治療を安全に提供しています。さらに、日進月歩で高度化していく診療放射線技術に追従できるよう、スタッフ一同日々研鑽を積み、常に知識・技術を更新していますので、画像検査・放射線治療は安心して我々にお任せください。

当院スタッフが保有する専門技術者認定一覧-----

X線CT認定技師、肺がんCT検診認定技師、磁気共鳴（MR）専門技術者、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、救急撮影認定技師、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師、医用画像情報専門技師、上級医療情報技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士、第1種放射線取扱主任者

救急診療における診療放射線技師の役割

救急の現場では特にチーム医療が求められており、私たち診療放射線技師も放射線撮影業務に特化した役割から、シームレスな医療の一員として、技術や情報を提供する専門職へと変わってきています。

近年のCT画像はビッグデータ化しており、特に外傷患者さんのCT検査では3,000～4,000sliceの画像枚数にのぼることがあります。そのため画像の作成や送信には多くの時間が掛かってしまいますが、このデータを元に私たちは診断やその後の処置に役立つような画像を積極的に作成しアピールするように努めています。

当院では急性脳梗塞や脊椎の炎症疾患などの救急MRI検査においても、早期から24時間対応で撮影を行っています。また、一般撮影・ポータブル撮影もフラットパネルを導入し、瞬時に画像をベッドサイドで確認できる環境も整えています。

私たちスタッフ一同は、全ての撮影・画像作成において、『スピード』と『クオリティー』を両立し、さらに『安全性』にも気を配っています。

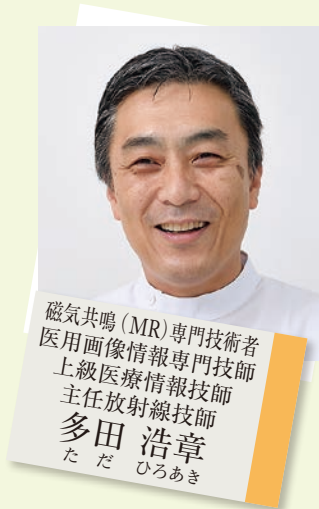
医師・看護師をはじめ多職種の方々や患者さんとのコミュニケーションを大切に、皆様のご理解・ご協力のもと、日々研鑽し業務に励んでいます。

女性技師が毎日担当しています！

当院では第三者機関より「マンモグラフィ検診施設画像認定」を受け、精度や画質を保証された装置を使用してマンモグラフィ検査を行っています。また、「検診マンモグラフィ撮影認定」を取得した診療放射線技師も在籍して毎日女性技師が担当しています。

乳房を詳しく観察するためには乳腺をしっかり引き出して広げ、圧迫することがとても大切です。患者さんには痛い思いをさせたいことがあるかもしれませんが、この手技が不十分な画像では正確な診断が難しくなる場合があります。正確な診断を行うためには患者さんにご協力いただき、診療放射線技師が適切な設備と技術をもって画像を撮影することが重要です。

マンモグラフィ検査は怖いと思われる方にも安心していただける体制を整えていますので、検査について不安なことやわからないことはスタッフにお声掛けください。



看護週間

5月12日は「看護の日」

毎年5月12日は「看護の日」、その日を含む日曜日から土曜日までが「看護週間」です。看護の心、ケアの心、助け合いの心は社会を支えていくために大切です。「看護の日」はこうした心の周知・普及のため、近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなんで制定されました。

企業訪問

5月10日に管理栄養士、理学療法士と看護師で企業訪問をさせていただきました。企業で働く方の休憩時間を利用して「血圧測定」「血管年齢測定」「肺年齢測定」「栄養相談」「腰痛相談」を行いました。

腰痛のある方と一緒に体操をしたり、食品に含まれる砂糖の多さにおどろかれる方に、摂取方法の注意事項をお伝えしました。昨年と同様にたくさんの方に参加していただきました。



企業訪問に行ってきました

イベント

院内イベント

院内のホスピタルストリートにブースを設け、患者さん・ご家族・病院職員の相談を受けました。

- 「血圧測定」 「血管年齢測定」
- 「肺年齢測定」 「栄養相談」
- 「物忘れ相談」 「禁煙相談」
- 「身長体重・体脂肪測定」



65名の方が血圧測定をしました



76名の方が血管年齢測定をしました



77名の方が体脂肪測定、49名の方が肺年齢測定をしました



市民公開講座について

第1回 市民公開講座

令和元年5月17日（金）18：30

テーマ：「腰痛のための姿勢と運動」

中央リハビリテーション部長 坂本 和志



今回は84名と多くの皆様にご参加いただきました。初めて参加された方が62%と腰痛への関心の高さがうかがえました。また、ご夫婦で参加された方も多くいらっしゃいました。

テーマに沿って腰痛を起こしやすい姿勢、起こしにくい姿勢を解説し、腰痛の原因には運動器の機能障害（骨や筋肉）と脳の機能障害（心理的ストレスによる）の二つの側面がありそれぞれに応じた対応が必要であること、また過度の安静は経過を長引かせることや、再発のリスクを高めることをお話ししました。講演の合間には「体の柔軟性」や「足腰の筋力」をチェックしていただいたほか、家で簡単に続けられる運動を実際に皆様にも体験していただきました。今回の講座が腰痛と向き合う皆様の一助となれば幸いです。



入場無料

第2回 市民公開講座

事前申し込み不要

令和元年7月27日（土）10：30～12：00（開場10：00～）

テーマ：「認知症に備えて…」

講師：小沢 義典

（千葉ろうさい病院 副院長・認知症疾患医療センター長）

菊池 信子

（辰巳ナーシング・ヴィラ 副施設長）

岩本 明子

（千葉ろうさい病院 中央リハビリテーション部 主任言語聴覚士）

場所：夢ホール（スポーツデポ市原五井店1階）

市原市更級1丁目9番8号TTECビル1階

お問い合わせ先：千葉ろうさい病院 経営企画課

TEL：0436-74-1111



今後の予定

◆ 9月13日（金）：院内／テーマ「STOPメタボ 食事を見直し健康を手に入れよう！」

◆ 11月17日（日）：夢ホール／テーマ「がんに関する内容」

今後も様々なテーマを取り上げていく予定です。ご興味のある方は是非奮ってご参加ください。

連携登録医のご紹介

いまい内科・循環器 クリニック

いまい ひとし
院長 今井 均 先生



平成18年9月に八幡宿駅前に、ろうさい病院循環器内科部長として12年間勤務後、循環器内科を開業し、おかげさまで、13年経ちました。

ろうさい病院をはじめ多くの病院との連携でお世話になっております。また、八幡宿駅周辺には「病院通り」と呼ばれ、優秀な先生方が多種の専門診療を開業され、その連携も充実し、循環器に特化した当院でも、地域で見てもらえると患者さんに安心していただけて、感謝しております。

高血圧症、狭心症・心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心電図異常、脂質異常症、糖尿病、肥満などが主で、一般的な心電図、心エコー、24時間心電図、運動負荷試験などの検査も行っています。最近ではメタボの方が多く、食事療法の重要性を強く感じ、管理栄養士が栄養指導をして頑張ってもらっております。また、禁煙外来も多数ご利用いただき、好評です。

町の気軽に相談できる医院を目指して来ましたが、これからも継続していくつもりです。

皆さまよろしくお願いたします。



医療法人社団 仁敬会 いまい内科・循環器クリニック 診療案内



〒290-0062 市原市八幡810-3八幡東駅前ビル3F

電話番号 **0436-37-3355**

診療科目 内科・循環器科

診療時間		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:00	○	○	○	休	○	☆	休
午後	3:00~6:00	○	○	○	休	○	休	休

☆午前9:00~午後1:00 ※平日・土曜 一部予約制あり

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期医療・予防医療を担い、基幹病院として地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成をはかります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。



一雨ごとに紫陽花も色鮮やかになり見頃を迎えました。

編集 後記

平成が終わり、令和時代の幕開けです。そんな令和元年の今年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されます。市原市を活動の拠点としているサンウルブズの選手も、各地で熱い戦いを魅せてくれることでしょう。今から楽しみです。体格がラグーマンのような我が家の愛犬は、暑さが苦手なので、この時期はクーラーの効いた部屋で気持ち良くイビキをかいて寝ています。

皆さんも、高温多湿に注意し水分や塩分を摂取するなど、熱中症に気を付けてお過ごしください。

鈴木 啓之 (中央放射線部)